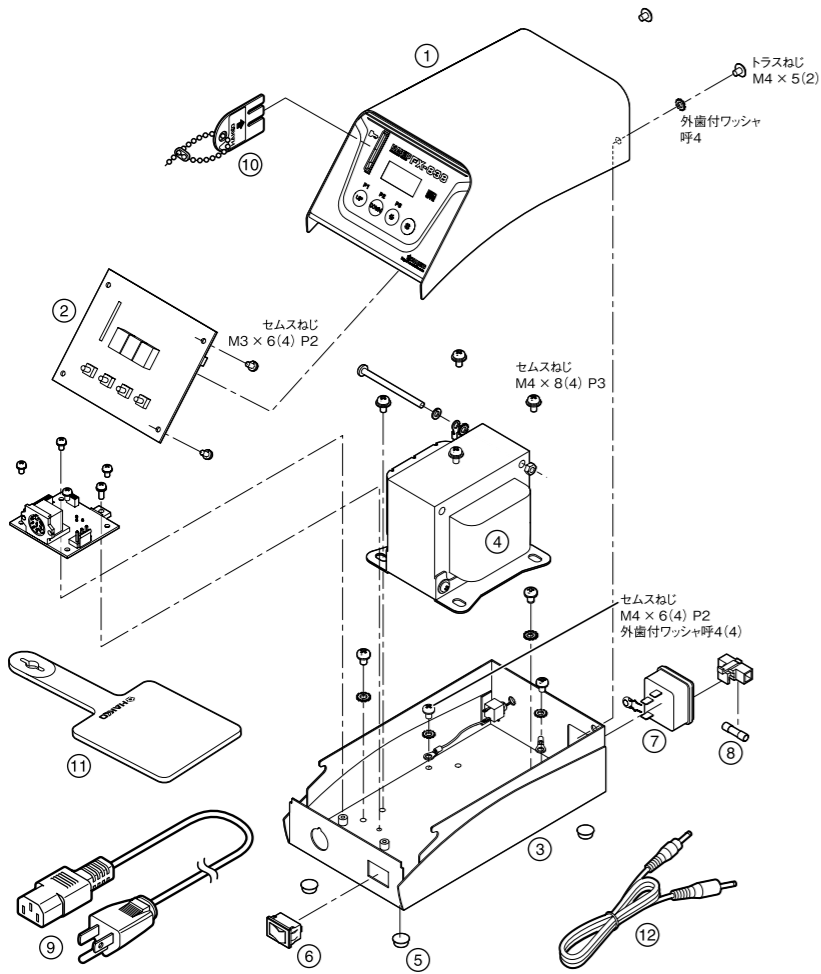


1. 分解図・部品リスト



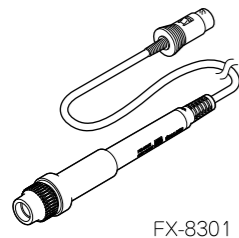
● ハッコー-FX-838 ステーション

図番	品番	部品名	仕様
①	B3530	カバー	メンブレンシート付き
②	B3526	基板	125V-5A
③	B3529	シャーシ	ゴム足付き
④	B3525	トランス	100V
⑤	B2748	ゴム足	
⑥	B2852	電源スイッチ	

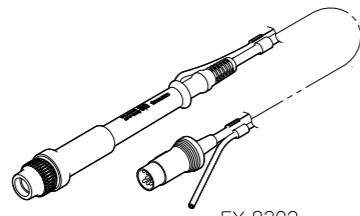
図番	品番	部品名	仕様
⑦	B5279	インレット100-120V	パリスタ付き
⑧	B2468	ヒューズ	125V-5A
⑨	B2387	電源コード	2極接地型
⑩	B2388	カード	
⑪	B2300	耐熱パッド	
⑫	B3253	中継コード	

● こて部 オプション

品番	部品名	仕様
FX8301-01	ハッコー-FX-8301	150W(27V)
FX8302-01	ハッコー-FX-8302	150W(27V)



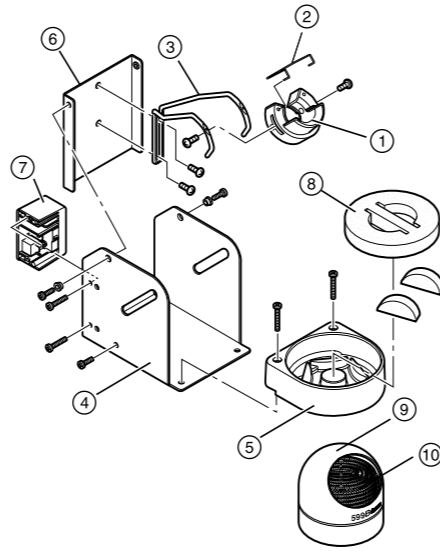
FX-8301



FX-8302

● ハッコー-FH-200 こて台 (オプション)

図番	品番	部品名	仕様
①~⑧	FH200-02	ハッコー-FH-200	スポンジ付き



● こて台パーツ

図番	品番	部品名	仕様
①	B3001	口金	ねじ付き
②	B2791	こて先固定スプリング	
③	B3248	口金ホルダー	ねじ付き
④	B3251	こて台ベース	ゴム足付き
⑤	B3249	クリーナーベース	ゴム足付き
⑥	B3250	ステー	
⑦	B3252	スイッチケース組品	
⑧	A 1519	クリーニングスポンジ	
⑨	599B-01	こて先クリーナー	クリーニングワイヤー付き
⑩	599-029	クリーニングワイヤー	

2. メンテナンス

製品を長く、よりよくお使いいただくため、定期的にメンテナンスを実施してください。使用する温度や、はんだ・フラックスの質・量によって製品の消耗の度合いが異なりますので、使用状況に応じてメンテナンスを行ってください。

▲ 警告

本機は高温となりますので、作業には十分ご注意ください。また、特に指示のある所以外では、必ず電源を切り、電源コードを抜いてください。

● こて先について

1. こて先温度

2. クリーニング

3. 終了後

4. 中断 (パワーセーブ機能を使用していない時)

5. メンテナンス

必要以上に高い温度でのご使用は、こて先の劣化を早め、熱に弱い部品にダメージを与えることがあります。はんだ付けの場合には、常に可能な限り低い温度で使用してください。ハッコー-FX-838はこて先の温度回復力が優れているため、低めの設定温度で十分に作業が可能です。

はんだ付けの前にはきれいな湿らせたクリーニングスポンジまたはハッコー-599Bこて先クリーナーでこて先の酸化物や古いはんだをぬぐい取ってください。はんだ付け部に不純物が付着しますとはんだ付け不良の原因になります。またこて先の熱伝導が悪くなるためこて先温度を上げることになり、こて先と基板を傷めることになります。

作業が完了したら、こて先をきれいにぬぐってから新しいはんだで先端を覆ってください。こて先の酸化を防ぎます。

こてを高い温度に設定したまま長時間放置しないでください。こて先のはんだメッキが酸化物でおおわれ、熱伝導が悪くなります。長時間使用しないときは電源スイッチを切ってください。

1. 温度を250℃に設定します。
2. 温度が安定したらクリーニングスポンジでこて先をぬぐい、こて先を点検します。
3. はんだメッキ部に黒い酸化物が付着している場合は、新しいフラックス含有のはんだを送りクリーニングスポンジで拭き取ります。酸化物がとれるまで繰り返してください。その後、新しいはんだで覆ってください。
4. 電源を切り、冷却してからこて先を外します。他に酸化物などが付着している場合もアルコールなどでふき取ってください。
5. こて先が変形していたり消耗が激しい場合は交換してください。

▲ 注意

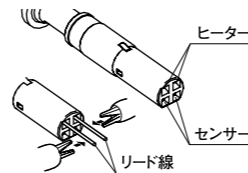
酸化物をとるためにやすりがけしないでください。

● 点検

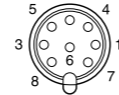
▲ 警告

特に指示がない限り、下記の手順は電源スイッチを切り、電源コードを抜いて行ってください。

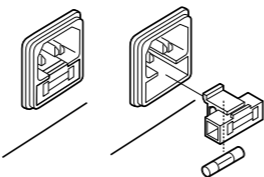
■ ヒーター・センサー切れ



■ アースラインの点検



■ ヒューズ交換方法



1. ヒーター・センサー切れ

ヒーター抵抗値	1.2~2.0Ω(常温時)
センサー抵抗値	2.0~5.0Ω(常温時)

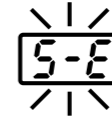
抵抗値が異常な場合は、こて先を交換してください。

1. こて接続コードのプラグをステーションから外します。
2. ピン2とこて先周の抵抗値を測定します。
3. 抵抗値が2Ω(常温時)を超える場合、こて先のメンテナンスを行ってください。

1. 電源コードをインレットより引き抜きます。
2. ヒューズホルダーを引き抜きます。
3. 新しいヒューズと交換します。
4. 元通り組み立てます。

3. エラー表示

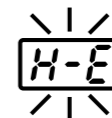
● センサーエラー



センサー/ヒーター切れ(センサー回路を含む)の可能性がある場合、**[S-E]**が表示され、電源が遮断されます。

注記:
こて先が正しく挿入されていない場合にもセンサーエラーとなります。グリップを接続したときに一瞬**[S-E]**が表示されることがありますが、故障ではありません。

● 下限設定温度エラー



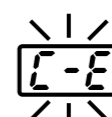
センサー検出温度が設定温度と下限設定温度との差以上に大きくなった場合に、**[H-E]**が表示され、警報ブザーが鳴ります。こて先温度が設定温度範囲内に上昇すれば、ブザーは鳴り止みます。

例:

350℃(400℃-50℃)
設定温度 ↓ 下限設定温度

例:
設定温度が400℃で、下限設定温度が50℃のとき、ヒーターは通電されているにもかかわらず、温度が低下し続け、最終的に左に示す値より低下した場合、表示される値が点滅してこて先温度が低下していることを示します。

● はんだこてエラー



こて接続コードがステーションに接続されていないか、間違ったはんだこてが接続されると、**[C-E]**が表示されます。

4. トラブル発生時に

▲ 警告

内部点検や部品交換の際、電源コードは必ず抜いてください。感電の恐れがあります。

● 電源スイッチを入れても動作しない。

点検: 電源コードまたは接続プラグが外れていませんか。

対処: 接続する。

点検: ヒューズが切れていませんか。

対処: なぜヒューズが切れたのかの原因を確認した後、ヒューズを交換してください。再びヒューズが切れる場合には、修理のため本体ごと送り返してください。

● こて先が熱くならない。

・センサーエラー **[S-E]** が表示される。

点検: こて先はしっかり差し込まれていますか。

対処: こて先を最後まで差し込んでください。

点検: 接続コードが断線していませんか。ヒーター・センサーは切れていませんか。

対処: 2.の「ヒーター・センサー切れ」の項を参照してください。

● こて先にはんだがのらない。

点検: こて先の設定温度が高すぎませんか。

対処: 適正温度に設定してください。

点検: こて先に酸化物が付着していませんか。

対処: 酸化物を取り除いてください。(2.の「こて先について」の項を参照してください。)

● こて先温度が高すぎる。

点検: オフセット値入力は正しいですか。

対処: 正しく入力してください。

対処: 購入した販売店へ連絡してください。

● こて先温度が低すぎる。

点検: こて先に酸化物が付着していませんか。

対処: 酸化物を取り除いてください。(2.の「こて先について」の項を参照してください。)

点検: オフセット値入力は正しいですか。

対処: 正しく入力してください。

● はんだこてエラーの **[C-E]** が表示される。

点検: 他のはんだこてを接続していませんか。またはハッコー-FX-8301のプラグが外れていませんか。

対処: 電源スイッチを切り、ハッコー-FX-8301を接続し直し、電源スイッチを入れます。

● 下限設定温度エラー **[H-E]** が頻発する。

点検: はんだ付け対象物に対してこて先が小さすぎませんか。

対処: もっと熱容量の大きいこて先を使用してください。

点検: 下限設定温度エラーの設定が低すぎませんか。

対処: 設定値を大きくしてください。

● はんだこてをこて台に置いているのにスリープ機能が動作しない。

点検: 中継コードがきちんと接続されているか確認してください。

対処: 一度電源を切り、中継コードを接続し直してください。

● こて先エラーの **[E-1]** が表示される。

対処: 購入した販売店へ連絡してください。

● こて先エラーの **[E-2]** が表示される。

点検: ヒーターが切れていませんか。

対処: こて先を交換してください。こて先を交換しても解消されない場合は、購入した販売店へ連絡してください。

5. こて先の種類

MEMO

